

～ NSTリンクナースからのミニ情報 ～

12/13摂食・嚥下リハビリテーションの第一人者である若林秀隆先生による講演会が開催され、院内・外から沢山ご参加頂きました。

講演会のリハ栄養・サルコペニア・リハ薬剤の中でも話題となっている「サルコペニア」を紹介します。



若林秀隆先生

「サルコペニア」とは

進行性・全身性に認める筋肉量減少と、筋力低下をもたらすことをいいます。

医原性サルコペニアとは、本来できることが、入院することによって、安静臥床（とりあえず安静）、禁食（とりあえず禁食、水・電解質輸液のみ）という対応により、引き起こされるサルコペニアをいいます。入院により、絶食、点滴管理のみで経過観察することを、若林先生は「水栽培」と話されています。低栄養をGLIM基準で評価し、栄養ケア・リハビリ両面からケアプランを立てることが求められています。



大腿骨骨折を例にあげ、リハビリだけではなく栄養と共に攻める！

低栄養の患者にただの水栽培にならないように、消費量＋蓄積量をプラスすることが大切。

（健常者はエネルギー必要な量だけでOK）

リハビリ3、栄養7の割合で攻める！！

そのため、他職種と連携し、サルコペニアを予防していきましょう